

折り紙から五弁の花を作る

5 弁の花が多いので、折り紙から 5 角形の紙を作ることにしました。
あとは、ここでやり方を応用していろんな花にチャレンジしてください。

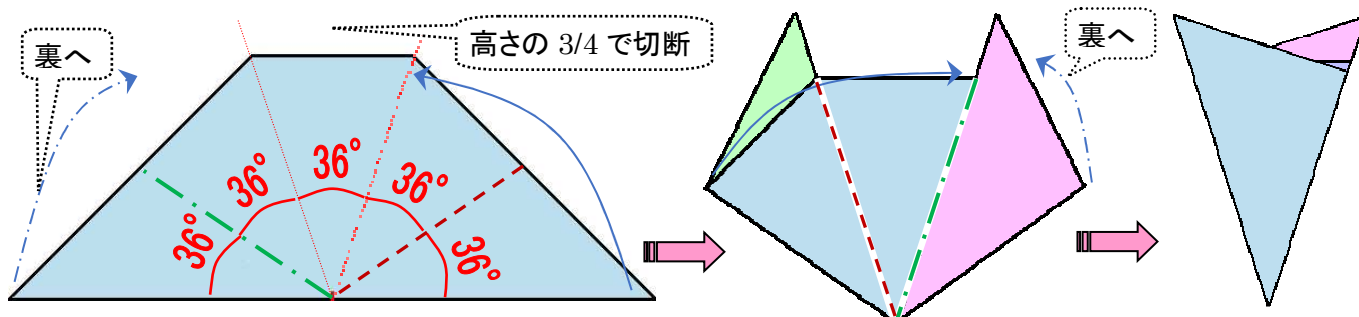
ここでは、五角形の折り方をマスターしたことから始める。

今回の材料は次の通り。

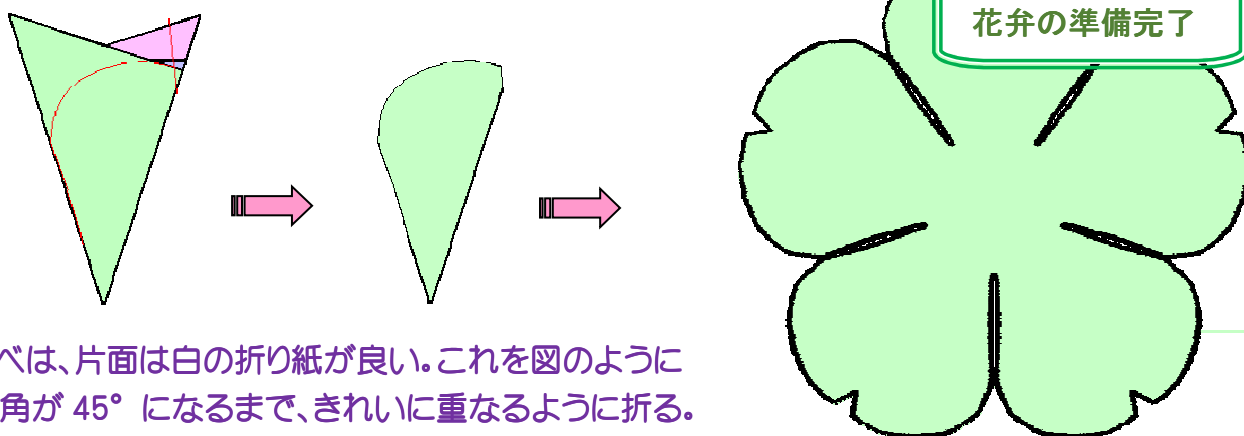
- ・折り紙(両面色付き 75mm角)・・・花弁用
- ・折り紙(片面色付き 50mm 角)・・・雄しべ用
- ・工作用ボンド ・カラー画鋲(写真)・・・雌しべ用
- ・園芸用ワイヤー(ソフトタイプ φ2.5mm 写真)・・・花茎や枝用



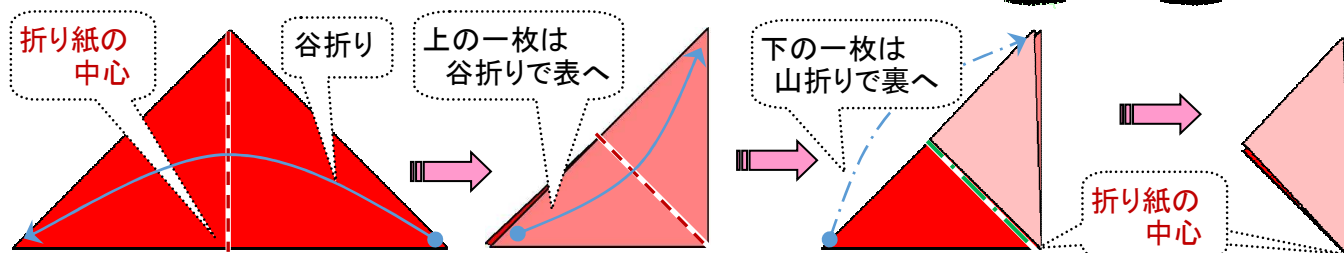
- ① 花弁は、両面色付きの折り紙を使う。両面が同じ色だと少し折りにくい、熟達しよう。
五角形作りで分かったことは、図の左の二つ折りの紙から始めても良いということだった。



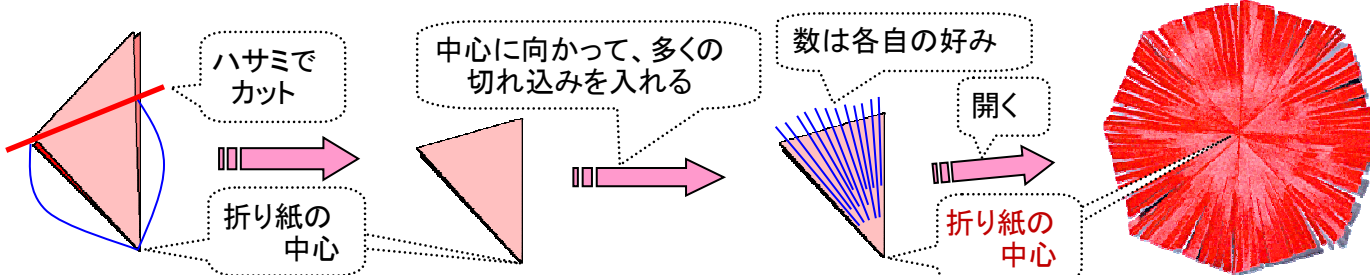
- ② 次に、5 弁の花を作る。自分の好きな形で切り取る。



- ③ 雄しべは、片面は白の折り紙が良い。これを図のように
中心角が 45° になるまで、きれいに重なるように折る。



- ④ 今度は折り紙の中心を頂点とするほぼ二等辺三角形になるよう切り、
さらに『雄しべ』らしくするため、図のように細かくハサミを入れる。



⑤ がく(萼)は、アネモネのようになくても良いが、好んで○や☆形など簡単に作ってもよい。

⑥ 雌しべは、カラー画鋏やマップピンを使う。(待ち針は頭が抜けやすいので避けたい)

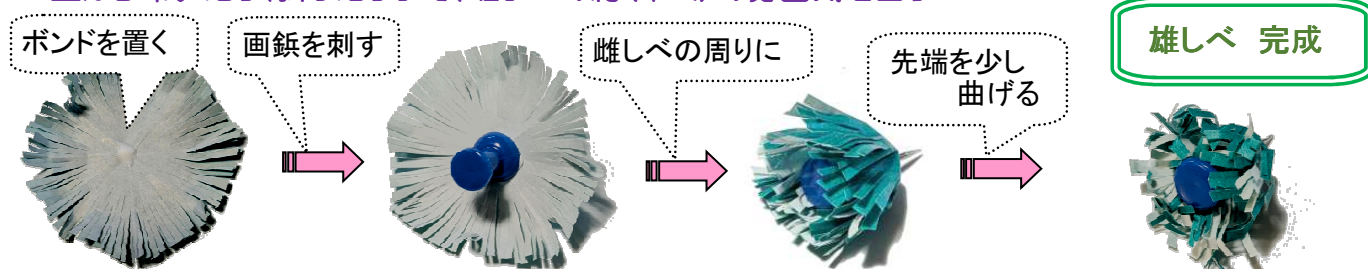
⑦ 次のものには、この中央にあらかじめピンで小さな穴をあけておく

＜花弁＞②で作し、⑩の最初の写真のように爪で本物らしく形を整えておく

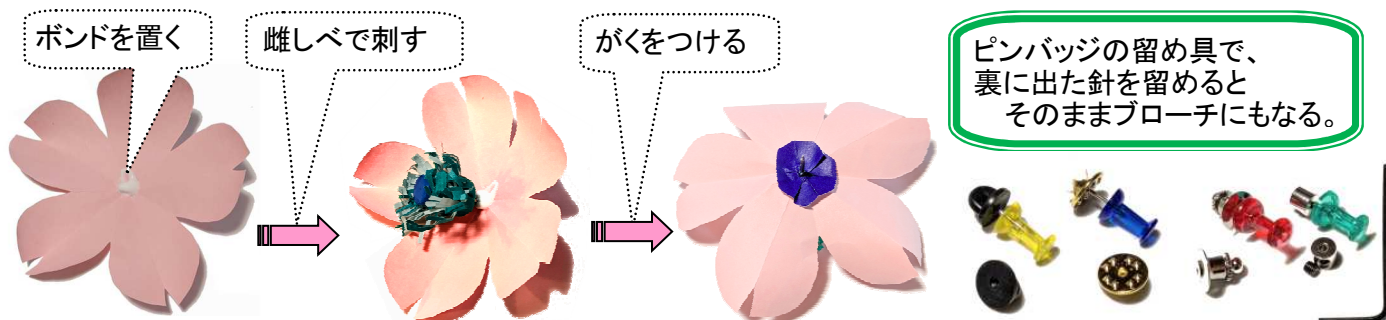
＜雄しべ＞④で作ったもの ＜がく＞なくても良いが、⑤で好んで準備したもの

⑧ まず、雄しべの内側中央にボンドを少量おき、雌しべとして使うカラー画鋏を上から刺す。

⑨ それから、裏から出たピンの針の部分をしっかり持ち、雄しべ全体を何度もなでるようにして雌しべの近くに立ち上げる。ほぼ雄しべが立ち上がったところで、雄しべの先端が曲がるように上から叩いたり、折ったりして、雄しべの葯(やく)の雰囲気を出す。



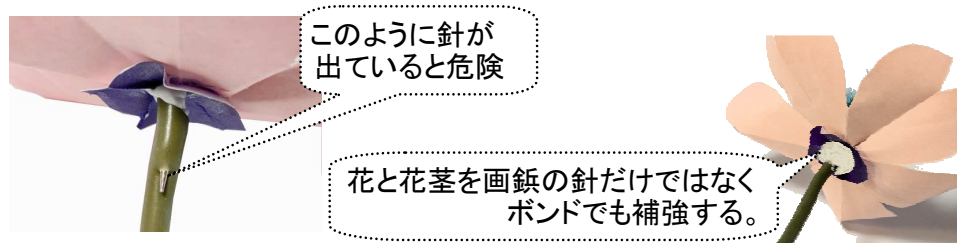
⑩ 次に、花弁の内側の中央にボンドを少量置き、雄しべの着いたカラー画鋏(雌しべ)を通す。がく(萼)があるときはボンドをつけ、写真のように花弁の裏までピンを通す。



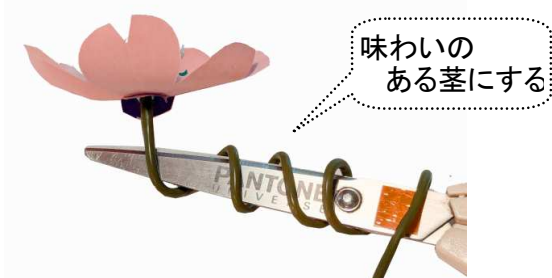
⑪ 花にこだわるならば、ピンの針に少量のボンドを付け、花茎となる園芸用ワイヤーの針金に沿うように差し込む。

(ワイヤーのゴムから画鋏の針が出ないように、画鋏を回しながらゆっくりと差し込む。)

⑫ 花茎との接続がうまくできたらボンドで花茎と花との間を補強する。



⑬ 図を参考に、必要な茎の形状に合うように適当に処理する。



五弁の花 完成

